

# アメリカの戦争の新たな拠点となる横田基地強化に反対を

参議院東京選挙区予定候補

羽村市議予定候補

田村智子さんと鈴木たくやさん

## 日本共産党羽村市議団が市長に要請

日本共産党の田村智子参院東京選挙区予定候補は、11月16日、横田基地をかかえる周辺自治体を訪れ、米軍再編による横田基地の機能強化に反対し、早期返還を要求していくことなどを申し入れました。羽村市では、並木市長が応対。申し入れには中原まさゆき市議、高橋美枝子市議、鈴木たくや羽村市議予定候補らが同席しました。(要請書は右記)

並木市長は「国防については、国同士が決めるのが従来の形だった。しかし今は、市民が参加して国防のあり方を考えるべきだ。賛成、反対の前に基本的な情報を共有できなければならない」と答えました。また、C130輸送機の劣化ウラン問題について、「6自治体の協議会として、米軍に情報提供を求めていくことができると思う」と語りました。



並木市長(左)に申し入れをおこなう田村智子さん(中央)、鈴木たくやさん(右)

日本共産党羽村市委員会は上の見解を明らかにしました。

### 米軍横田基地に関する要請書

現在、大規模な米軍再編の一環として、米軍横田基地に航空自衛隊航空総隊が移転するなど機能が大きく強化されようとしています。しかも、10月29日「日経」では、ミサイル防衛の中核をなす地对空誘導弾パトリオットミサイル(PAC3)の日本配備の候補地に横田基地が含まれていると報じるなど、横田基地が在日米軍と自衛隊との軍事一体化の拠点になろうとしています。さらに、11月8日付け「沖縄タイムス」が米軍機に劣化ウランなどの放射性物質が使用されていることを報道していることは重大です。

横田基地の周辺自治体と住民は、広大な土地を提供させられ、爆音被害に苦しめられてきました。周辺自治体の多くは、議会の決議などで爆音被害をなくすことや、将来にわたって基地の縮小・返還を求める立場にたってきました。さらに、米軍再編のもとで横田基地が、アメリカのしかける戦争の指揮や出撃の拠点にされようとしていることは、断じて認められません。

米軍再編にともない新たな局面をむかえているだけに、貴自治体が、以下のとりくみを積極的になされるよう要請するものです。

世界の流れは米軍基地の縮小・撤去です。日本共産党は、日本の真の独立と平和と安全を守る立場から、日米安保条約を廃棄し日米友好条約を結び、基地の全面返還を実現するという道筋を明らかにしている政党です。同時に、周辺自治体と住民の安全を最優先する立場から米軍基地による被害の軽減、解消のために力を尽くす決意です。

#### 要 請

- 1、貴自治体の住民に対し、今回の日米共同で合意された米軍再編の内容やC-130や飛来するC-5大型輸送機の劣化ウラン使用問題などについて、真相を調査し、すべての情報を周知すること。
- 2、航空自衛隊の移駐やPAC3の配備など米軍再編による横田基地の機能の拡大・強化に反対するとともに、日米政府に対して計画の撤回を求めること。
- 3、基地の永久化につながる軍民共用に反対するとともに、日米政府や東京都に対して計画の撤回を求めること。
- 4、ミサイル防衛や核攻撃問題などで、最も危険な標的となりうるのが、巨大な横田基地であることは明らかです。こうした危険から住民を守るためにも、米軍基地の早期返還を要求していくこと。